

# Frente

vol.52  
2012.12

フレンテみえ

フレンテとはスペイン語で  
「前向き」という意味です。

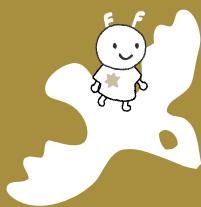
# 道は誰が拓く？

Report

**女性の参画拡大に向けて**

「ポジティブ・アクションの推進」

男女共同参画フォーラム  
みえの男女2012



Report

「女性のためのからだラボ」

二兎社「こんばんは、父さん」  
永井愛 アフタートーク母子家庭等の女性のための  
パソコン講座  
就職準備セミナー in 四日市市

「女性に対する暴力防止セミナー」

冬の「つじこみえ」事業紹介

フレンテ職員Tの  
韓国スタディツアーレポート

2012年 最新データでみる男女共同参画

ミニエッセイ  
ソフリエ おじいちゃんのアフタートーク

恒例の  
誌上リポート!

## 男女共同参画フォーラム 2012 みえの男女

平成24年11月10日(土)

女性の  
参画拡大に  
向けて ポジティブ  
アクション  
の推進



もう  
一步  
前へ…

「フレンテみえ」が毎年秋にお贈りする年度集大成イベント「男女共同参画フォーラム～みえの男女 2012～」を、11月10日(土)に開催しました!

今年のフォーラムは、あらゆる分野への女性の参画を促進し、男女間の格差を解消するための「ポジティブ・アクション」の導入、その必要性や取組についてを、対談やワークショップ、パネル展での発表を通して考えました。

また、例年好評の「相談ブース」のほか、女性起業家による「フレンテ・マルシェ」や「東北女性支援販売ブース」など、センター全館を使用して様々な企画をお届けしました。盛りだくさんのその様子を、どうぞご覧ください!

## 対談

### 藻谷 浩介さん × 呉本 紀子さん

(株式会社日本総合研究所  
調査部 主席研究員)

コーディネーター  
水落 正明さん

(三重大学 人文学部 准教授)  
ダイバーシティ推進室 主事)

今回のフォーラム・メイン企画は、ホールでの「対談」。2時間にわたって様々なデータを示しながら、世界の中の日本、日本の中の三重、そして企業や働く女性の視点を踏まえ、これから目指すべき「姿」が多角的に語られました。

冒頭は、藻谷さんからのお話。

藻谷さんは「ポジティブ・アクション」を「女性の役職者を意図的に増やすこと」とし、これから企業が実際に取り組もうとした場合に考えられる「違和感」を提示。それらに対して様々なデータをスクリーンに示しながら、人口減少社会となった日本の将来に女性の社会参画がいかに必要で、有効であるかを解説していただきました。



特に、三重県はあらゆることが「中間的」で女性の参画も進んでいない状態だが、これまでの男性中心・経済主義で形成されたシステムのままでは三重県も壊滅的といえるほどの人口減少が予想され、女性の参画拡大、男性の家事育児参画など対策が急務であると説得力をもって語られました。

藻谷さんのお話を受け、コーディネーターの水落さんからは年齢階級別労働率(M字カーブのグラフ)や女性議員数など、三重県の「女性の参画状況」について解説がありました。

県内でも、地域差はあるものの、全県的に女性の参画は進んでおらず、しかも時間を掛けて取り組まなければ進まないものなので大変難しい課題であるということを改めて確認しました。



続いて、呉本さんから企業において実際に行っている様々な取組事例をご紹介いただきながら、理念をもってダイバーシティ(多様性)を進めている現場の声を伺いました。

制度や研修の実例や女性の発想が活かされた製品開発(美容機器など)のエピソードがたくさん紹介され、取組のヒントやその効果を現実感をもって受け止めることができるお話でした。



後半は、女性をはじめとするダイバーシティの視点が企業にとっていかに有効で重要なことか、経済学の観点からポジティブ・アクションをどう捉えるか、日本の現在の輸出額についてなど話題は多岐にわたり、時間が足りないほど。

最後に「今日のお話を少しでも認めていただいて、今後も考えてほしい(藻谷さん)」「女性はもっと欲張りに。ダイバーシティは特効薬ではなく漢方薬のようなもの。未永く継続してほしい(呉本さん)」とメッセージがあり、大きな拍手のなか終講となりました。



出演者プロフィールや対談のさらに詳しい内容は  
「フレンテみえ」ホームページに随時掲載予定です



四

# 四つのワークショップを開催！

さらに詳しいレポートは  
フレンテみえホームページで!  
(随時掲載予定)

## 「防災と男女共同参画」～見直そう！男女共同参画の視点で身近な防災マニュアル～」

1

講師：福田 紀子さん（東日本大震災女性支援ネットワーク 研修プロジェクトマネージャー）

男女共同参画視点に立った防災・災害対策を考えることを目的に、身近な防災マニュアルや災害時の避難所運営について考えるワークショップを開催しました。

講師の福田紀子さんは、「災害時の具体的な対応マニュアルに女性や多様な視点が入る事が重要。ただ、災害時にマニュアル通りになる事ばかりではない。多様な人の置かれた状況を考え配慮すること、その視点を普段から持つことが大切。そういった視点を養うことで多様なことに対応できる。」とのお話がありました。

また、グループワークでは災害発生直後から時期を追っての変化や、避難所で起こり得る問題を想定しながら、運営に必要なルールづくりを検討。「避難所運営で色々な意見を反映できる場づくり」や「リーダーは一人でなく男女複数名で担う」等のルールが参加者から出されました。

主催：フレンテみえ



2

## 「シーカツに負けないココロを作るキャリアプランニング」

就活や、自分の将来に向けて「ココロ」の基礎をつくるためのキャリアプランニングについてのワークショップを開催。大学生から社会人まで、様々な世代、背景を持つ参加者が集まりました。

「男女共同参画」と「キャリアプランニング」が生きづらさを解消するための道具として有効という話を聞いた上で、自分の価値観、強み・弱み、将来への希望など「自分を知る」グループワークを行いました。ワークの終わりには、全員が「なりたい自分に近づく最初の一歩」を宣言し、お互いの目標に向けて拍手やエールを送りました。参加者からは「自分の人生やしあわせは、自分で決めるしかないことを再認識した」「将来、心が迷った時にも役立ちそうな内容だった」「いろんな世代の人の生き方や考え方を知れる交流の場にもなった」などの感想がありました。

主催：フレンテみえ

3

## 「男女が働きやすい職場づくり～県内企業の取組を通じて～」

コーディネーター：江成 幸さん（三重大学 人文学部 准教授）

「男女が働きやすい職場づくり～県内企業の取組を通じて～」をテーマとして、県内企業3社から3名をパネリストとして迎え、ワークショップを開催しました。

最初にコーディネーターから、ポジティブ・アクションとワーク・ライフ・バランスとは何か、またなぜそれらが必要とされているのかについて、様々なデータやご自身の経験を踏まえて、説明がありました。その後、パネリスト3人から、男女が働きやすい職場環境を実現するためにはどうすればよいかについて、人事・労務担当者及び現場で働く社員としての立場から発表がありました。

各社の取組紹介では、職場でのコミュニケーションの活性化によって社員同士の相互理解を深める取組や女性だけの事業部を発足することで女性の能力活用につなげる取組などの事例が発表されました。参加者からも、県内企業の事例発表が参考になり、社に持ち帰って今後の取組に活かしていきたいという意見もありました。

最後にコーディネーターから、ポジティブ・アクションを推進することで、女性が働きやすい職場づくりを行うとともに、ここ15年ほどで格段に充実してきたワーク・ライフ・バランスに関わる制度を今後さらに定着させていくことで、男女が働きやすい職場をつくっていくことが必要だというまとめがありました。

主催：三重県雇用経済部雇用対策課



4

## 「女性を政策・意思決定の場へ 第3弾～参画のノウハウ～」

主催：男女共同参画みえネット

男女共同参画みえネットは、昨年10月より、三重県との協働による「意思決定への場への女性の参画」促進応援プランを実施しています。

このワークショップは、「女性を政策・意思決定の場へ 第3弾～参画のノウハウ～202030」に向けて、2013年に羽ばたく」と題し、事業活動報告、各市の事例報告を行い、「さあ、あなたの市町で何をやる！？」を話題に意見交換を行いました。

男女共同参画みえネットの事業説明に続いて、地域活動の事例報告：「四日市市の事例」(700の自治会へのアンケート実施)、モデル事業の活用事例：「伊賀市の事例（地域への取組・住民自治協議会への女性の参画201630）」、「志摩市の事例（人の意識への取組・「上野千鶴子講演会」及び講演内容に関する意見交換会「おしゃべりカフェ」の開催）などを紹介し、県外の参加者や大学生を交えた会場いっぱいの参加者により、活発な意見交換が行われました。

参加者からは、「自治会と言う古い体質の組織へ踏み込み、四日市市の取組はよくぞなされたと思う。」「志摩市開催の『おしゃべりカフェ』はとても楽しそうで、参加してみたい」「自分は、今まで男女共同参画の視点に気がつかなかったが、これからは、その視点を取り入れていきたい」(学生)「地域による取組の格差を感じた。このような場で、情報収集をしたい。」(県外)「みえネットの取組を応援したい。」などの声が寄せられました。



「意決定の場への女性の参画」  
促進応援プラン

ラップアップフォーラム

平成25年1月26日(土)

取組の総括報告と、三重のこれからを考える  
フォーラム「フレンテみえ」でよいよ開催！

これまでの社会や職場の意識や常識を変え、女性の活躍の場を広げることにより、社会経済の活力アップを目指す、国行動計画。「25歳～44歳の女性就業率：73%」等、2020年までに実現すべき目標を掲げている。

# Report

(男女共同参画フォーラム2012)

みえの男女

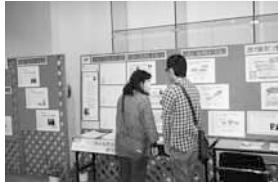
平成24年11月10日(土)

フォーラムで開催した様々な企画を  
ご紹介します！

## パネル展

三重の女性史研究会による「実行性ある女性参政権へ、過去・現在・未来」の展示やグループ津津うらうらによる公民館での活動を発表した展示、男女共同参画みえネットによる「意思決定の場への女性の参画促進応援プラン～寄ってたかって男女共同参画を活かしたまちづくり～」の活動報告展示、三重大学男女共同参画推進室による次世代女性研究者の育成の啓発とワーク・ライフ・バランスの推進についての展示がありました。

その他、多目的ホール横にはフレンテみえ登録企業の取組紹介、エントランスではデータで読み解く女性の参画パネル、県内市町の男女共同参画の取組状況の展示などがありました。



## フレンテ・マルシェ

今年は4店舗、生鮮野菜、農産物の加工品などを生産、販売する女性起業家の皆さんに集まつていただきました。

沢山の生鮮野菜や、いちじくジャム、小麦粉でつくったカステラ、サツマイモのパウンドケーキなど多様な商品を販売いただき、1時間という短時間開催でしたが大盛況のうちに終了しました。



## 「働くこと」等についての相談ブースほか

三重労働局雇用均等室が相談ブースを開設。専門の相談員が「働くこと」等に関する個別相談を受けました。また三重県環境生活部男女共同参画・NPO課「女性の1歩を応援！」ブースでは、パソコンを使った適職診断を来場者に体験してもらいました。

託児では、フレンテみえ登録団体のソフリエみえさんにもご協力いただきました。ソフリエみえさんは、おじいちゃん世代による地域の子育てをけん引している団体です。託児会場にとどまらず総合文化センター内を探検したり、昔あそびをしたり。フォーラムはこういった方々にも支えられています。

今年度表彰企業の取り組み詳細は…  
<http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/2012100331.htm>

## 東北女性支援販売ブース

9月のシネマスクエアでも開催した東北女性支援販売！

今回は秋の味覚を入れての再登場です。東北のりんご、新米、漬物に、前回好評だった「気仙沼のバラ」たわしや「まけないぞう」タオル、古布のスカーフなどもありました。

楽しみながらの東北支援、これからも息長く続ける予定です。ご支援どうぞよろしくお願いいたします。



# Report

## フレンテみえ 秋～冬イベント

この秋～冬はフォーラムの他にも、演劇公演をはじめ、スペシャルな企画をお届けしました！

11/27 火

二兎社公演  
③

### 父さん こんばんは、

#### 永井愛 アフタートーク

昨年春、初めての三重公演を実現した二兎社が、約1年ぶりに新作「こんばんは、父さん」で再び来県！公演後のアフタートークで、作・演出を務める二兎社主宰の永井愛さんにお話をうかがいました。その一部をご紹介します。

—登場人物が男性だけという作品は初挑戦とのことですが。

『あまり“男の芝居”だと思うのはやめてつくりました。

今と少し前の日本の経済状況や価値観を各人物に凝縮し、各時代の日本の姿と考えて描きました。』

—作中、町工場のおかみさんで今は亡き「かあさん」のことが父と息子の口から語られますね。

『朝早く起き、家事をして、その後工場労働、その間や後、また家事です。家族だけでなく工場職員の世話もする「みんなのかあさん」ですね。そして人が何を必要としているのかなど人間の本当の言葉の意味を読む、それはある種“リーダー的”な対応です。そんなかあさんの存在は表に出にくいですが、実は工場を支えている「本当のリーダー」と言えます。』

—登場人物が前向きに一步踏み出せるよう気持ちを変えるための工夫などは意識されていますか。

『人間が変わるということは価値観が変わるということ。自分の意思で価値観を変えることが出来ると思います。また相手の存在から言葉にならないメッセージを受けて変わることもあります。そんな相手との関係があって、人が変わると一瞬が何よりドラマティックだと思いますし、そんな話を書いていきたいと思います。』



アフタートーク会場の様子  
(三重県文化会館中ホール)

二兎社公演③「こんばんは、父さん」



平井 幸平  
佐々木 蔵之介  
永井 愛

#### ミニエッセイ ソフリエ

#### おじいちゃんのアフタートーク

「地域のおじいちゃんによる孫育て支援」

「ソフリエみえ」は、平成23年度フレンテみえ主催の定年世代向け男性講座を受講し孫育てができる資格を取った地域のおじいちゃん仲間です。

現役時代は会社の仕事が忙しく、子育て・家事・介護は全て妻任せでした。時間的余裕ができる退職後、私達はお互いが持っている知識・経験・特技を生かし合いながら楽しく地域で活動しています。

子育てセンターの定期訪問では、遊びを通じ乳幼児や若いお母さん方から発見と成長の喜び、若きエネルギーを頂いています。運動会やクリスマス会等では、巨大迷路や紙芝居、自作の小道具などで楽しく遊んでいます。遊び道具には介護施設に通院している方が作ったお面などもあります。

フレンテみえ、津市、その他のイベントでは、単独または他のグループと一緒に園児や小学生と紙飛行機や竹細工、お菓子作りなどを楽しんでいます。

一番の楽しみは、今を生かされていること。人の輪が広まっていくことです。

この活動は自分が要介護や単身世帯になっても楽しく生きていくための礎を築く良い機会となっています。これらも全てフレンテみえの講座のお陰です。



安濃子育てセンターでの活動



平成24年度「フレンテまつり」

※「ソフリエ」とは…NPO法人エガリテ大手前が認定している「孫育てができる祖父」に与えられる資格。  
昨年5月開催のフレンテみえ男性講座「カッコイイじいになろう～ソフリエ資格を取って地域デビュー～」終了後、受講生により日本初のソフリエ活動グループ「ソフリエみえ」が結成されました。

ピンク・リボンは「乳がん予防啓発」のシンボルで、10月の啓発月間には世界規模で啓発キャンペーンが行われています。  
パープル・リボンは「女性に対する暴力根絶運動」のシンボルで、11月の暴力防止月間には各地で啓発活動が行われ、暴力防止を呼びかけています。



# Report

平日コース：9月19（水）、20（木）、25（火）

土日コース：10月13（土）、14（日）、20（土）

共催：ハローワーク津マザーズコーナー

今年で3年目の開催となった母子家庭等の経済的困難を抱える女性のためのパソコン講座。毎回満足度100%の人気講座です。ワードやエクセルなど、パソコンのスキルアップだけでなく参加者同士の交流や情報交換の機会にも！



参加者からは「講座に参加して自分の未来の窓が開いた気がする」「前に進んでいく自信がついた」「同じ境遇の人たちと話が出来て、出会えてよかった」などの感想をいただきました。

パソコン講座「地域開催（伊勢市・多気町）」  
参加者募集中！ 詳しくは「フレンティミえ」まで

## ～地域開催日程～

伊勢市：土日コース  
／1/27（日）、2/2（土）、3（日）  
伊勢市：平日コース  
／2/20（水）、26（火）、27（水）  
多気町／1/25（金）、29（火）、30（水）  
※各日とも 10:30～15:30

# Report

## 母子家庭等の女性のための就職準備セミナー in 四日市市

12月1日（土） 共催：四日市市男女共同参画センター「はもりあ四日市」

例年フレンティミえで開催している「母子家庭等の女性のための就職準備セミナー」を、今年は四日市市で開催しました。

「履歴書の書き方」「模擬面接」など就職活動にすぐに役立つスキルを身につけ、「メイクアップレッスン」では顔色だけでなく表情まで明るくなり、みんな笑顔に！「子どもプログラム」では、頑張っているママのために子ども達がランチづくりに挑戦！午後からは、自然の素材を使ったおもちゃづくりも体験しました。セミナーの最後には、協力企業16社からのプレゼントをお渡ししました。参加者からは「役立つスキルが身につき、仲間も出来た」「全ての企画にスタッフの方々の熱意、愛を感じました」などの感想がありました。



## 地域開催！

平成24年度 女性に対する暴力防止セミナー

伊賀市  
ゆめぽりすセンター

## 「気づいてください～あなたのそばの見えないDV～」

11月18日（日） 共催：伊賀市男女共同参画センター

毎年、11月の「女性に対する暴力をなくす運動」の期間に開催されているセミナーです。今年は伊賀市と共催し、DVへの理解を深めるための講演会を開催しました。

伊賀市のDV相談の現状と相談体制について、伊賀市こども家庭課から報告があり、その後朗読劇「ひまわり～DVをのりこえて」を上演しました。この朗読劇は、DV被害者が自分の力に気づき、前を向いて歩きだすまでの物語です。伊賀市の市民グループ「ポップ会」「伊賀市子育てインストラクター“スマイル母（ママ）”」

による素晴らしい朗読でした。講演会では東北大学大学院教授の沼崎一郎さんから、『なぜ男は暴力を選ぶのか～DV加害者の実像と対策』についてお話をいただきました。「DVは犯罪である。単なる夫婦喧嘩ではなく、子どもの健全な心身の発達を阻害し、大切な人間関係を破壊するものだ」と強く語られました。



# Report



## 多く寄せられる「離婚」に関する相談について

# フレンテ職員Tの「韓国スタディツアーパートナーレポート」



8月29日～9月2日にかけて、(一財)アジア・太平洋人権情報センターと(一財)大阪府男女共同参画推進財団が主催する韓国スタディツアーパートナーレポート「地域に学ぶエンパワーメントと参加—木浦&ソウルへの旅—」に参加しました。

男女平等や女性の社会参画促進に向けた取組を行っているセンターや性暴力反対など女性の人権を守る団体を訪問し、韓国でのパワフルな女性たちの活動を肌で感じることができたツアーレポートでした。

韓国でも固定的な性別役割分担意識の根強さや政策方針決定過程の場への女性の参画など、ジェンダーを背景とする課題はたくさんあるようです。それらに対し、韓国では政治を動かしていくほどの力強い「運動」がありました。理不尽な壁や困難があれば自分たちの声をあげていくために『運動』を行う、その姿勢が根付き、成果を生んでいるのだと感じました。



全南女性プラザ内の博物館

訪問先の一つの「木浦女性連帯」は女性がもっと生きやすい社会に変えていくため、「木浦女性の電話」など複数の女性団体が連帯し、活動を行っているネットワーク組織でした。みんなが主体の対等な関係で、「抽象的なスローガンを掲げるよりも、小さな変化を起こせるような活動」を、という共通認識の下、規模も、アプローチする対象や手法も様々な団体が連帯運動を行っています。



木浦での女性団体とのワークショップの様子

男女間の格差を解決するための運動や、その声を受け止め制度・法律を変えていこうとする政治・行政の実現など、色々な立場で、変化を怖がらずに行動していこうという意識、姿勢こそが、根深い問題解決の糸口なんだろうと感じました。

自分で決める！私の人生

## 女性のための離婚講座

「子どものために、離婚はしない方がいいのかしら？」「夫と別れたらどうやって生活していこう…」「調停ってなに？養育費はどれくらいもらえるの？」離婚にまつわるさまざまな疑問の中から『親としての役割』『経済的な自立』『法律の知識』をテーマにした3回連続の講座です。

人生の選択肢のひとつとして、離婚について考えましょう。

日程／平成25年1月9日・23日

・2月6日（いずれも水曜日）

講師／NPO法人しんぐるまざあず

・ふおーらむ・関西：大森順子さん  
三重県母子福祉センター 就業相談員、  
女性の弁護士、キャリアカウンセラー、  
ファイナンシャルプランナー

対象／女性 定員／30名（先着順）

受講料／無料

「つじみえ」事業紹介

お問い合わせ・お申込は  
059-233-1131まで

のぼる？とどまる？

## 働くわたしの処世術

「ふと気が付いたら、勤続〇年」「そろそろキャリアアップも必要、とは思うんだけど…」「先輩」と呼ばれる立場になったけど、スキルがなくて自信がない」そんな女性必見！今年のフレンテみえエンパワーメント・スクールは、働く女性へ、これからも働き、生きていくためのノウハウを詰め込んだ“処世術”を贈ります。

自信をつけて、自分を好きになるために、効果的なプレゼンテーション、スピーチの仕方やコミュニケーション術など具体的な「仕事スキル」を身につけ実践力を磨くワークも行います。仕事に、即役立つノウハウが盛り沢山です！

日程／平成25年2月9日・16日

・23日（いずれも土曜日）

講師／中川和子さん（フェミニストカウンセラー）  
NPO法人日本フェミニストカウンセリング学会所属  
フェミニストカウンセリング堺代表

対象／女性 定員／24名（先着順）

受講料／7500円（県外の方は8250円）

詳細はこちらのHPをご覧ください

<http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/jigyou/H24/019rikon.html>

詳細はこちらのHPをご覧ください

<http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/jigyou/H24/020enpa.html>



厚生労働省の発表（推計）では、昨年の婚姻数が67万組、離婚件数は23万5千組。およそ47秒に1組が結婚し、2分14秒に1組が離婚している計算になります。フレンテみえでは女性弁護士が無料で女性のための法律相談を受けています。昨年の相談件数は107件でした。相談内容としては総件数の74%が夫婦問題で最も多く、そのうちの9割が離婚の相談でした。

2012年最新データでみる男女共同参画

日本の男女格差縮小せず!? 98位→101位へランクダウン…

順位	国名(調査国135カ国)	2011年の順位
1	アイスランド	1
2	フィンランド	3
3	ノルウェー	2
4	スウェーデン	4
5	アイルランド	5
6	ニュージーランド	6
7	デンマーク	7
8	フィリピン	8
:	:	:
99	アゼルバイジャン	91
100	マレーシア	97
101	日本	98
102	ベリーズ	100
103	カンボジア	102
104	ブルキナファソ	115
105	インド	113
106	スリナム	104
107	アラブ首長国連邦	103
108	韓国	107

2012年10月発表(世界経済フォーラム)

日本の  
分野別  
順位は?

経済分野→102位  
教育分野→81位  
保健分野→34位  
政治分野→110位

## GGI ジェンダー・ギャップ指数 (Gender Gap Index)

世界経済フォーラムが、各国内の男女間の格差を数値化しランク付けしたもので、経済分野、教育分野、政治分野および保健分野のデータから算出されています。順位の高い国ほど男女間の格差が少ない国といえます。

ランキング上位はヨーロッパ諸国、特に北欧諸国が占めており、アジア最高位の国はフィリピンです。日本と韓国は、OECD諸国の中でも非常に低い順位です。

日本の場合、経済分野と政治分野での順位が低く、全体の順位を下げている状況です。

特に政治分野においては、列国議会同盟(IPU)が発表している、女性の国会議員比率の国際比較でも190カ国中109位と低く、日本は先進国で最低水準です。

先進国の中で  
最低レベルなんだね…



### ▼出典

世界経済フォーラム  
2012年グローバル・ジェンダー・ギャップレポート  
[http://www3.weforum.org/docs/WEF\\_GenderGap\\_Report\\_2012.pdf](http://www3.weforum.org/docs/WEF_GenderGap_Report_2012.pdf)

列国議会同盟(IPU) 女性の国会議員比率国際比較  
<http://www.ipu.org/wmn-e/classif.htm>

## フレンテみえ って、なに?

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。  
情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流という「5つの柱」で、様々な事業を展開しています。  
ぜひ皆さん、お気軽に立ち寄りください!

~詳しい情報はホームページまで~

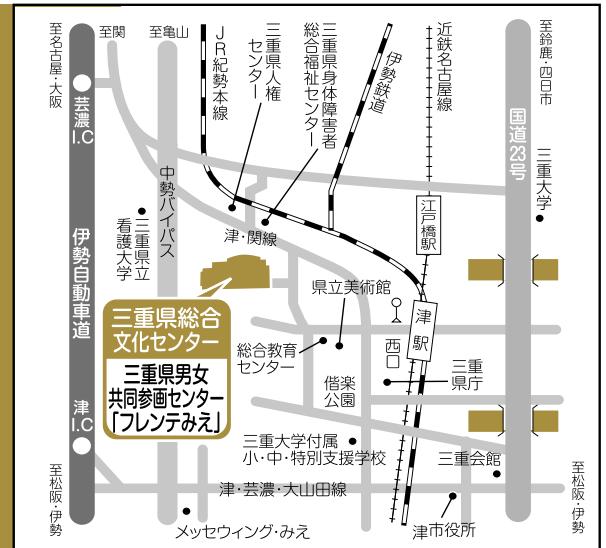
フレンテみえ

で

検索



三重県男女共同参画センターまでの案内



生き方・家族・人間関係・からだ・離婚・職場などなど…  
男女がともに自分らしく生きるために、様々な悩みの相談をお受けします

女性のための電話相談 秘密厳守・相談無料

フレンテみえ相談室 専用ダイヤル 059-233-1133

相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝 9:00~12:00		●	●	●	●	●	●	●
午後 13:00~15:30		●	—	—	●	●	●	●
夜 17:00~19:00	※	—	—	●	—	—	—	—

※祝日の場合「朝・午後」相談あり(翌平日が休館日)

フレンテみえ相談室のご案内  
(切り取ってご利用ください)

休館日  
毎週月曜日  
年末年始  
(12月29日から  
1月3日まで)

交通  
■バス/津駅西口1番のりばから約5分  
■徒歩/津駅西口から約25分  
■自家用車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分  
※駐車場は1400台(無料)できるだけ公共交通機関をご利用ください。

発行

[年4回発行/次回 4月発行予定]

MIE CENTER FOR THE ARTS  
三重県総合文化センター

三重県男女共同参画センター フレンテみえ

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地

TEL : 059-233-1130 FAX : 059-233-1135

URL <http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/>

E-mail : [frente@center-mie.or.jp](mailto:frente@center-mie.or.jp)

あつという間に冬ですね。今年度の情報誌は今号が最後です。暖かくなるころ、気持ちも誌面も新しく、さらに“前向き”な気持ちでお会いしましょう! (by所長)